

令和3年度

第2次五島市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の進捗状況について

五島市は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、第2次五島市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を策定し、五島市役所及びその他の市の施設から排出される温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

以下に、令和3年度の第2次五島市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の進捗状況を公表します。

1 温室効果ガス総排出量の比較

令和3年度温室効果ガス総排出量は、基準年度（平成26年度）と比較して約54.07%減少しました。

	排出量 (t-CO ₂)	減少率 (%)
基準年度(平成26年度)	21,823.8	-
算定年度(令和3年度)	10,023.3	54.07
目標年度(令和12年度)	13,211.0	39.47

※小数点第3位四捨五入

2 電気・エネルギー使用量の比較

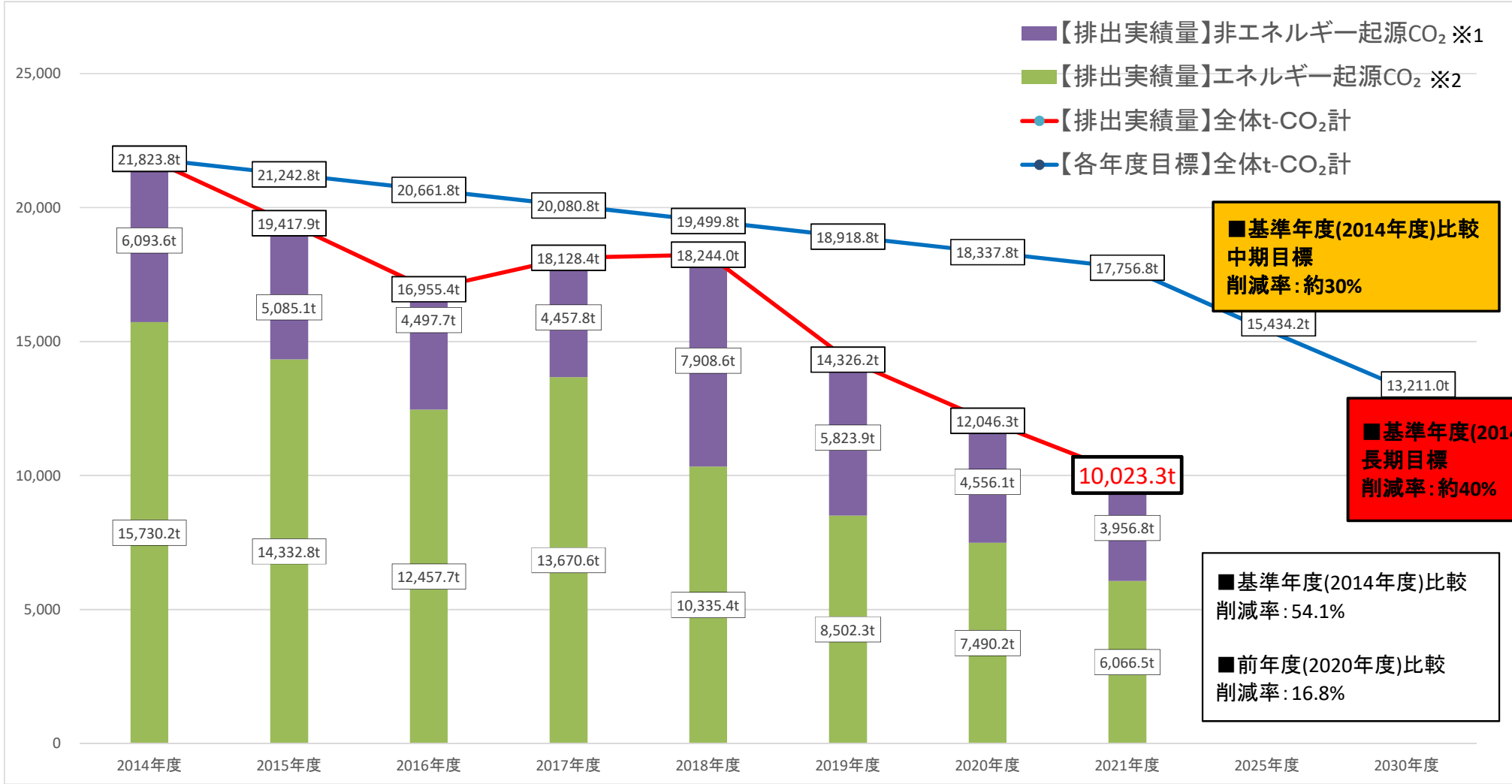
	基準年度 (平成26年度)	算定年度 (令和3年度)	増減量	増減率 (%)
電気使用量 (kWh)	20,213,166.2	14,655,067.0	-5,558,099.2	-27.50
A重油使用量 (L)	947,820.0	289,655.9	-658,164.1	-69.44
LPG使用量 (kg)	40,128.8	12,393.8	-27,735.0	-69.11
灯油使用量 (L)	313,310.3	97,060.0	-216,250.3	-69.02
ガソリン使用量 (L)	122,107.3	114,716.3	-7,391.0	-6.05
軽油使用量 (L)	67,158.8	116,309.5	49,150.7	73.19

3 温室効果ガス総排出量増減の主な理由

【基準年度と比較して減少した要因】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、公共施設の使用制限や閉館等により、従来の事務事業に要する燃料の使用が減少したことによるもの。
- ・大規模施設を再生可能エネルギー100%電力に切り替えたことにより、CO₂排出量が減少したことによるもの。

令和3年度CO2排出量



■ 基準年度(2014年度)比較
 中期目標
 削減率: 約30%

■ 基準年度(2014年度)比較
 長期目標
 削減率: 約40%

■ 基準年度(2014年度)比較
 削減率: 54.1%

■ 前年度(2020年度)比較
 削減率: 16.8%

※1 非エネルギー起源 : 一般廃棄物(廃プラスチック類)の焼却により排出されるもの
 ※2 エネルギー起源 : 施設での電気や燃料、公用車のガソリン等の使用により排出されるもの